



- ◆ (注意) 防除終了後は、SS タンク内の洗浄を徹底し、タンク内に薬液が残らないように注意する。
- ◆ (注意) オキシラン水和剤・キノンドーフロアブル等の有機銅を含む薬剤の年間使用回数は合計 9 回までとする。
- ◆ (注意) この防除暦は、予防散布を基本とする。特に梅雨期間は連続した降雨前に散布を完了する。

散布日	時 期	使用薬剤名	使用量	収穫前 使用 時期	年間 使用 回数	10a当り 散布量 (ℓ)	対象病虫害 (発生病虫害)	注 意 事 項
月 日	第 1 回 3月下旬 (発芽前)	(水88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤 * ①、②	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	— —	300	(黒星病) (腐らん病) (胴枯病) ハダニ類 カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤に代えて、トップジン M 水和剤の 1000 倍(前日、6 回)でもよい。 ② (注意) 腐らん病予防として剪定した切り口に、トップジンMペーストを塗布する。
月 日	第 2 回 開花前 4月下旬	展着剤 サムコルフロアブル 10 * ② トップジンM水和剤 * ③	10mℓ 20mℓ 100g	前日 前日	3回 6回	300	腐らん病 輪紋病 (胴枯病) ケムシ類 ハマキムシ類	① 訪花昆虫に十分に注意する。 ② サムコルフロアブル 10 に代えて、ロムダンフロアブル 3000 倍(7 日前、3 回)でもよい。 ③ (注意) 赤星病の発生園は、オンリーワンフロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。
月 日	第 3 回 5月上旬 (前回 10 日後)	展着剤 * ① ベンレート水和剤 モスピラン顆粒水溶剤	10mℓ 50g 25g	前日 前日	4回 3回	400	輪紋病 胴枯病 (腐らん病) アブラムシ類	① (注意) アブラムシ類の発生が早まる場合は、今回の散布を早める。 ② (注意) 腐らん病予防として剪定した切り口に、トップジンMペーストを塗布する。
月 日	第 4 回 5月下旬 (前回 10 日後)	展着剤 * ①、② ジマンダイセン水和剤 スミチオン水和剤 40	10mℓ 200g 100g	30日前 21日前	5回 6回	400	輪紋病・黒斑病 黒星病 ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	① (注意) アブラムシ類の発生がみられる場合は、ウララ DF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ② (注意) カイガラムシ類の発生園はアプロードフロアブルの 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
月 日	第 5 回 6月上旬 (前回 10 日後)	展着剤 ダーズバン DF オキシラン水和剤	10mℓ 33g 200g	21日前 3日前	3回 9回	500	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ (腐らん病)	① (注意) 連続した降雨が続いている場合は、今回の散布を早める。 ② (注意) 腐らん病感染拡大防止のため、病斑部等にトップジンMペーストを塗布する。
月 日	第 6 回 6月中旬 (前回 10 日後)	* ① Ic ボルドー412 * ②、③	3. 3kg	—	—	600	輪紋病 (シンクイムシ類) (カメムシ類)	① (注意) 連続した降雨が続いている場合は、今回の散布を早める。 ② IC ボルドー412 に代えてのオキシラン水和剤の 500 倍(3 日前、9 回)でもよい。 ③ シンクイムシ類・カメムシ類の発生園は、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍(前日、3 回)を加用する。
月 日	第 7 回 6月下旬 (前回 10 日後)	* ① Ic ボルドー412 * ② ダーズバンDF	3. 3kg 33g	— 21日前	— 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① (注意) 連続した降雨が続いている場合は、今回の散布を早める。 ② IC ボルドー412 に代えてのオキシラン水和剤の 500 倍(3 日前、9 回)でもよい。
月 日	第 8 回 7月上旬 (前回 10 日後)	展着剤 カネマイトフロアブル ナリアWDG * ③ サイアノックス水和剤	10mℓ 100mℓ 50g 100g	前日 前日 45日前	1回 3回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ハダニ類 (腐らん病)	① 死角ができないように散布量を多めに設定する。また、葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。 ② (注意) ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
月 日	第 9 回 7月中旬 (前回 10 日後)	展着剤 キノンドーフロアブル バイスロイドEW	10mℓ 100mℓ 50mℓ	3日前 7日前	9回 2回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	① 死角ができないように散布量を多めに設定する。また、葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。
月 日	第 10 回 7月下旬 (前回 10 日後)	展着剤 キノンドーフロアブル ダニサラバフロアブル * ① ダイアジノン水和剤 34	10mℓ 100mℓ 100mℓ 100g	3日前 前日 14日前	9回 2回 6回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ハダニ類	① (注意) 梅雨明けが早まる場合は、ダニサラバフロアブルを繰り上げて7月中旬に散布する。また、ダニサラバフロアブルに代えて、スターマイトフロアブル 2000 倍(前日、1 回)でもよい。
月 日	第 11 回 8月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 キノンドーフロアブル オリオン水和剤 40	10mℓ 100mℓ 100g	3日前 3日前	9回 2回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 (ハダニ類)	① 死角ができないように散布量を多めに設定する。また、葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。
月 日	第 12 回 8月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 * ①、② キノンドーフロアブル イカズチ WDG	10mℓ 100mℓ 66g	3日前 前日	9回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 (ハダニ類)	① オーロラ等の最終防除。 ② (注意) ハダニ類の発生園は、コロマイト乳剤の 1000 倍(前日、1回)を加用する。
月 日	第 13 回 9月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 キノンドーフロアブル ダントツ水溶剤	10mℓ 100mℓ 25g	3日前 前日	9回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類	① 死角ができないように散布量を多めに設定する。また、葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。
月 日	第 14 回 9月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 キノンドーフロアブル	10mℓ 100mℓ	3日前	9回	600	輪紋病 (シンクイムシ類)	① ラ・フランス等の最終防除。 ② 死角ができないように散布量を多めに設定する。また、葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。